



『新宿力』で創造する
やすらぎとにぎわいのまち新宿

平成31年第1回区議会定例会
新宿区長定例記者会見資料
平成31年2月8日(金)

事業名	東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした教育の推進	予算(案)の概要 77、78、79 ページ
予算額	59,905 千円 (新規・拡充・継続) (前年度予算額 39,111 千円)	
取材先	教育委員会事務局教育指導課長 長田 (電話 03-5273-3075) 教育委員会事務局教育支援課長 志原 (電話 03-3232-1051)	

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、国際理解教育や英語教育を一層充実するとともに、自国の伝統文化に対する理解を深め、グローバル社会を担う子どもたちの国際感覚を養います。また、障害者に対する理解と思いやりの心を育むとともに、子どもたちのスポーツへの関心を高め、体力の向上を図ります。

英語キャンプの実施 (予算 10,371千円)



英語だけの環境に身を置く2泊3日の宿泊体験

伝統文化理解教育の推進 (予算 9,947千円)



日本の伝統文化の体験や講座の受講

障害者理解教育の推進 (予算 12,100千円)



障害者スポーツ選手との交流や障害者スポーツの体験

スポーツギネス新宿の推進 (予算 4,065千円)



スポーツへの関心と体力向上を目指し
リフティングやダブルダッチ等の記録に挑戦

平成31年度(2019年度)からの新たな取組

新たなスポーツ種目の導入

(予算 18,145千円)

東京2020大会の更なる気運醸成とともに、小学校での体力向上の取組を強化するため、全区立小学校29校に2種類の新たなスポーツ種目を導入します。運動に苦手意識をもつ児童にも多様な運動に親しませることで、運動意欲の向上を図ります。

■ スラックラック クラシック (予算 4,851千円)

綱渡りを発展させたスポーツ「スラックライン」を体験できる用具「スラックラック クラシック」は、体幹を強化して体力の向上を図るとともに、「スポーツギネス新宿」の新種目としての導入を検討していきます。



スラックラック クラシック

■ 肋木クライミングウォール (予算 13,294千円)

既存の肋木に設置できる用具「肋木クライミングウォール」は、手足を使って多様な動きを身に付けるとともに、東京2020大会からの新種目「スポーツクライミング」への興味・関心を高めていきます。



肋木クライミングウォール

ボランティア活動の気運醸成

(予算 5,277千円)

東京2020大会が子どもたちにとってレガシーとなるよう、中学生のボランティア活動の気運を醸成するとともに、各中学校が行う東京2020大会に関連した創意工夫ある生徒会活動を支援します。

■ 「東京2020おもてなしボランティア体験」事業

中学生を対象とした「都市ボランティア体験イベント」を実施し、外国人観光客へ区内の観光ガイドなどを行うとともに、大会公式グッズを活用した、東京2020大会のPR活動を行います。



■ 「『生徒会×東京2020@新宿』～中学生が考える私たちのオリ・パラ～」事業

各中学校の生徒会が主体的に企画・運営する、東京2020大会に関連した生徒会活動(学校行事、町会・自治会、PTA等との連携事業など)を支援します。

